

「研究業績」の作成について

農学部教員人事委員会

研究業績は、A4判の用紙に A. 著書・訳書、B. 学位論文、C. 総説・論説、D. 原著論文 (a) 学術雑誌^{*1}、(b) 紀要^{*2}、(c) プロシーディングス、E. その他^{*3}、F. 報告書・事業報告書等^{*4}、G. 特許・設計等、H. 国際学会発表^{*5}、I. 国内学会発表^{*5}の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り返してください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度(日本文の場合フォントのサイズは10.5～12程度)にしてください。

- *1：学会誌、国際誌等を年代順に記載する。
- *2：試験場報告、研究所報告等を含む。
- *3：商業雑誌、資料等を記載する。
- *4：調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等を記載する。
- *5：最近5カ年について記載する。(教授選考の場合、I. 国内学会発表は不要)
- *6：英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。

1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)

- *7：学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。
- *8：論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はポールド(太字)とする。
- *9：Journalは略記する。
- *10：発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

記載例

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著) (1990)
農学について. 出版社, 東京, 100p.
2. 岩手一郎 (分担執筆) (1991)
岩手の農業 (大学太郎, 学部一郎編), 堂, 盛岡, pp.10-20.
3. 岩手一郎 (分担翻訳) (1992)
アメリカの農業 (A.B.Carter 著, 大学太郎監訳), 社, 東京, pp.20-30.
4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)
Agricultural Sciences (Eds.: D. E. F. Green and H.I.James), Bio Press, London, pp.20-30.

(注) 執筆した表題等は表記する必要はありません。

B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)

X Y Z に関する研究. [学修士または修士 (学) 大学]

2. 岩手一郎 (1983)

A B C に関する研究. [学博士または博士 (学) 大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)

岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 3 : 1-5.

2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)

岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15 : 215-220.

D. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)

岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5 : 15-20.

2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)

Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20 : 100-105.

3. Iwate, I. (1990)

Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

(b) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)

トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 17 : 30-40.

(c) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)

Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)

北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野性動物 125 : pp.35-45.

F . 報告書・事業報告書等

1 . 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシの P C B 汚染 . 自然動物調査報告 (県), pp.10-11.

G . 特許・設計等

1 . 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

H . 国際学会発表 (最近 5 年間)

1 . Morioka, J. and Iwate, I. (1996)

Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I . 国内学会発表 (最近 5 年間)

1 . 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)

岩手の野性動物 . 第 100 回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.